

# アスパラガス 立茎夏秋どり栽培 管理情報

福光農業協同組合

富山県砺波農林振興センター

## 1 病害虫対策

- ・「茎枯病」の予防防除の重要な時期なので、必ず防除を実施する。既に茎枯病が発生している場合は、罹病茎を抜き取り、ほ場外に持ち出して処分した後、防除する。

| 月 | 旬 | 対象<br>病害虫        | 薬剤名         | 希釈倍率    | 10a 当たり<br>散布量 | 使用時期   | 使用<br>回数 | 備考  |
|---|---|------------------|-------------|---------|----------------|--------|----------|-----|
| 7 | 上 | 茎枯病・斑点病・褐斑病      | ダコニール 1000  | 1,000 倍 | 300L           | 収穫前日まで | 4 回以内    | 混用可 |
|   |   | アザミウマ類・タバココナジラミ類 | アベンジャーフロアブル | 2,000 倍 |                | 収穫前日まで | 2 回以内    |     |
|   | 中 | 茎枯病<br>斑点病       | ロブラール水和剤    | 2,000 倍 | 300L           | 収穫前日まで | 5 回以内    |     |
|   | 下 | 茎枯病              | ベンレート水和剤    | 2,000 倍 | 300L           | 収穫前日まで | 4 回以内    | 混用可 |
|   |   | アザミウマ類<br>ハモンヨトウ | ディアナSC      | 2,500 倍 |                | 収穫前日まで | 2 回以内    |     |
| 8 | 上 | 茎枯病・斑点病・褐斑病      | ダコニール 1000  | 1,000 倍 | 300L           | 収穫前日まで | 4 回以内    | 混用可 |
|   |   | アザミウマ類・タバココナジラミ類 | アベンジャーフロアブル | 2,000 倍 |                | 収穫前日まで | 2 回以内    |     |

※展着剤のスカッシュ又はクミテン、マイリノーを添加する。

## 2 かん水

- ・若茎伸長、養成茎(立茎)維持には水分供給が重要となる。目安として、露地ではかん水量+降雨量として 10a 当たり 30mm(30L/㎡)/7 日間程度は必要とされる。
- ・ハウスでは1日に2回程度かん水し、かん水終了後、地下 10cm の土を強く握ると、数滴の水が滴る程度がかん水量の目安となる。朝主体のかん水とする。夕方にかん水を実施すると若茎が急激に伸びて、空洞茎の発生につながりやすい。

裏面あり

### 3 茎葉の過繁茂防止⇒防除効果を高め、うね内の通気性・採光性を良くする

- ・茎葉が込み合っている場合は、鎌などで軽く側枝の刈込みを行う。側枝はうね面から 50～60cm 程度の高さまで切り落とす。
- ・新たな夏芽は放置せず、可能な限り収穫または除去を行う。
- ・通路の端まで見通せないほど通路側に伸びている側枝(擬葉)は、ヘッジトリマーやハサミで刈り込むかマイカー線やフラワーネットにかける。
- ・防除に合わせて刈り込みを行う。



### 4 追肥

- ・夏肥 1 回目施用後(6 月上旬頃)、1 ヶ月後に鮮菜 200 を 25kg/10a 施用する。追加追肥は草勢や夏秋どりの収量等を考慮して実施する(例：100kg/10a 収穫するごとに窒素 1.5kg/10a 程度)。

### 5 温度管理

- ・35℃以上の高温状態が続くと、葉先枯れが発生しやすくなる。ハウスのサイド・肩・妻面を可能な限り開放する。寒冷紗等の遮光資材を被覆するのも効果がある。

### 6 雑草対策

- ・雑草が発生した場合は、以下の除草剤をアスパラガスにかからないように注意し、うね間に散布する。

| 薬剤名              | 適用<br>雑草名 | 10a<br>当たり<br>薬量 | 10a<br>当たり<br>散布量 | 使用時期               | 使用回数  |
|------------------|-----------|------------------|-------------------|--------------------|-------|
| プリグロックス L<br>(※) | 一年生雑草     | 600～<br>1,000mL  | 100～<br>150L      | 雑草生育期<br>但し、収穫前日まで | 3 回以内 |

※毒物で吸入や皮膚に接触すると、生命に危険な剤なので説明書を必ず一読してから散布すること。

### 7 農作業中の熱中症予防

- ①暑さを避ける ②こまめな休憩と水分補給 ③単独作業は避ける ④熱中症対策アイテムの活用

(問い合わせ先)

福光農業協同組合 営農部 営農指導課(高田) (電話番号 0763-52-4153)

富山県砺波農林振興センター 園芸振興班(石川) (電話番号 0763-32-8112)